



## 診療内容

主に成人を対象とした循環器専門外来と、学校心臓検診時の聴診や心電図検査等から精密検査や経過観察の対象となった児童・生徒を対象とした小児循環器内科専門外来があります。当外来では成人・小児あわせて年間約 1,500 人の診療を行っています。

精密検査を実施するとともに、生活習慣改善のための食事・運動・禁煙指導等の健康相談を行っています。児童・生徒には適切な管理区分の決定および指導、学校医への情報還元により不要な学校生活規制を回避できるよう配慮しています。さらに高度の精密検査や医療が必要な場合は適切な医療機関にご紹介しています。

### ●健診時の診察で「心雑音」が聞こえると言われました

弁膜症や心臓の壁に穴の開いている病気の可能性があります。特に心臓病がなくても健康な小児や妊娠中、貧血の場合などでも心雑音が聞こえる場合がありますので、心臓超音波検査を実施して心臓病があるかどうか確認します。

### ●健診時の診察や心電図検査で不整脈があると言われました

不整脈の中には経過観察していればいいものもあれば、すぐ治療をしなければならぬものまでいろいろあります。心臓超音波検査を実施して心臓の病気が基礎にあるかどうか見るとともに、24 時間心電図モニター（ホルター）検査を実施して不整脈の種類や出現の状況を調べて今後の方針を決めます。

### ●心電図検査で心臓肥大や心筋障害が疑われると言われました

原因不明で心臓の筋肉が肥大したり、心臓の筋肉の動きが悪くなって心臓が拡大したりする病気があります。また高血圧状態が持続すると心臓の筋肉に負荷がかかり、心臓の筋肉が肥大します。心臓超音波検査を実施して心筋の肥大、心臓の拡張の有無や心臓の機能の低下があるかどうか確認します。



■心臓の模型を用いてどこに所見があるか具体的に説明します



■心電図検査/全身の力を抜き、リラックスして受けましょう



■心臓超音波検査/心臓肥大や弁膜症などが分かります



■頸動脈超音波検査/動脈硬化の程度をみることができます

●**職場の健診で動脈硬化の危険因子（肥満、高血圧、糖尿病、脂質異常症）のいずれも認められ、二次健康診断を受けるように言われました**

動脈硬化が進行している可能性があります。心臓超音波検査、頸動脈超音波検査、血管年齢や動脈の狭窄の程度をみる血圧脈波速度および採血検査などを実施し、動脈硬化の程度をチェックし、生活習慣改善のための食事・運動・禁煙指導等の健康相談を行っています。高血圧治療が必要と思われた場合には24時間血圧モニター（ABPM）検査を実施して、高血圧の程度や治療薬内服の適切なタイミング等をみます。

■**検査**

- ・心電図検査
- ・心臓超音波検査
- ・頸動脈超音波検査
- ・24時間心電図モニター（ホルター）検査
- ・24時間血圧モニター（ABPM）検査
- ・血圧脈波速度検査
- ・採血検査

■**施設認定**

日本超音波医学会認定超音波専門医研修施設